

1. はじめに

インターネットということばがマスメディアのみならず我々の身近においても氾濫しており、情報ネットワークの活用が研究開発はむろん業務の遂行において必然なものとなってきた。建設分野においても建設省 CALS の推進などにその典型を見ることができる。ついては、土木分野においてどのような形態で情報ネットワークが開設され、維持されていくべきかについて広く協議・議論し、その基本的な方向性について検討する必要があるものと考えられる。

2. 研究の成果

本研究グループは、上記の目的のために建設系企業・官公庁・大学など多方面からの関係者で構成されており、各所属および団体間相互の情報の提供と一般市民への土木情報提供のための仕組みについて模索し、今後のあるべき形態について議論を進めてきた。最終的には土木分野における常設の情報ネットワーク（仮称シビルネット）を構築することを目標としているが、平成 8 年度は前述の議論を進めるとともに、既存のネットワークを参考として事例研究を実施してきた。

3. 今後の研究の進め方

土木分野における常設の情報ネットワーク構築のためには、今後各分野でのデータの収集、分析および相互議論をとうして、情報受発信の現状と今後に予想されうる課題の掘り起こしが必要である。また、ネットワーク構築に際しては、デジタルメディアとしての特長を生かした土木分野におけるコミュニケーションのコア的位置づけ、継続的活動としての情報の保存・記録所(Digital Archives) としての機能を発揮するための運営システムとしなければならない。このため、インターネットへのホームページによる情報発信を試験的に行い、現実の諸問題を抽出しながら広く一般からの議論を含めて集約していきたい。次ページにシビルネットホームページの一提案を示す。なお、土木分野におけるネットワークには以下に述べるような背景を十分考慮しなければならないと考えている。

(1)土木事業は社会基盤施設の整備が主であり、その大半は公共事業であること。

(2)このため業務の流れが官から民への発注であること、事業の推進にあたり官は地域住民の理解を得なければならないこと、事業の妥当性・合理性を審査するため、学識経験者として学の権威者が事業への影響力を有していること、すなわち他の業界に比し産・官・学・市民の 4 者が密接に関連していること。

(3)このような特性の中で、シビルネットは各主体間の情報の相互提供と活用が期待されること。

(4)国際化進行の社会で、国際競争力や発展途上国への技術協力・技術移転への対応のために海外研究所・企業・行政などの情報の受発信のニーズが高まり、シビルネットはその支援システムの一部として期待されること。

4. ワークショップの案内

本研究グループでは以下のワークショップを開催し、シビルネットワークのあり方について広く議論をお願いしたい。ご興味をお持ちの方の来聴をお待ちしております。

日 時	平成 9 年 6 月 17 日(火) 14:10~16:45
場 所	大阪市立大学学術情報総合センター11 階 L 会議室 大阪市住吉区杉本 3-3-138 Tel:06-605-3211 JR 阪和線杉本町駅東隣(http://www.osaka-cu.ac.jp/map.html 参照)
定 員	200 名
入場料	無料



シビルネットホームページへようこ

1996年9月2日より **09531** 人目の訪問者です。 ミラーサイト

English Page is here 最終更新日：1997/03/03 最新情報

土木分野に関する科学技術情報や社会・生活基盤・文化について広く情報を収集し提供しています。土木建設業界の方だけでなく、一般市民の方にも興味を持って戴けるページをめざしています。Webページのキーワード検索など便利な機能が満載です。

最新情報！シビルネットとは！土と木の博物館！パーソナルデータベース
シビルネット掲示板！Yellow Page！特選リンク集！文献探索ページ！お知らせ



検索しよう！！

- 土木関連分野 Yellow Page 国内の主要な土木関連のページをキーワード検索
- 特選リンク集 テーマ別にWebページをまとめました
- 文献探索ページ 論文のタイトルなどを一発検索
- パーソナルホームページ 個人情報のデータベース



土木をもっと知ろう！！

- 土と木の博物館 京阪神の橋の紹介や市民向けページのリンク集
- シビルネット掲示板 土木について語りましょう。市民の声も歓迎
- お知らせ イベント情報 **NEW**、お知らせ、会員への情報

